

保 健 保健体育科

科目 保健	(必修)	授業時数 1 単位
		履修学年 1 学年

目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
オリエンテーション	1	中高年期と健康	1	食品の安全性	1
ライフステージと健康	1	働くことと健康	1	食品衛生にかかわる活動	1
思春期と健康	1	労働災害と健康	1	保健サービスとその活用	1
性意識と性行動の選択	2	健康的な職業生活	2	医療サービスとその活用	1
妊娠・出産と健康	2	大気汚染と健康	2	医薬品の制度とその活用	2
避妊法と人工妊娠中絶	2	水質汚濁、土壌汚染と健康	2	さまざまな保健活動や社会的対策	2
結婚生活と健康	1	環境と健康にかかわる対策	2	健康に関する環境づくりと社会参加	2
		ごみの処理と上下水道の整備	2		

教材
教科書:「現代 高等保健体育」大修館書店 自主作成教材(プリント)他

授業の進め方
座学形式の授業を行う。 教科書に即した学習用のノートを用いて授業を展開する場合もある。 ノート左側の問題に解答して、提出を求める場合もある。 また、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、 技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できるとともに、 目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。
	習得する (わかる)	個人及び社会生活における健康・安全について理解している。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(定期テストや課題等も含む)

単元別 評価規準

第3章 生涯を通じる健康

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解し、 生涯の各段階に応じた健康管理や環境づくり、安全管理ができる。	生涯を通じる健康について、健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法などを 思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	思春期、結婚生活、加齢の段階において健康、行動、生活などに課題や特徴があること理解し、 自他の健康管理、安全管理及び環境管理ができる
	習得する (わかる)	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解している。	生涯を通じる健康について、健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法などを理解している。	思春期、結婚生活、加齢の段階において健康、行動、生活などに課題や特徴があること理解している。

第4章 健康を支える環境づくり

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解し、 環境衛生、食品衛生、保健・医療制度、社会的対策について説明することができる。	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を 思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会制度、活動が深く関わっていることを理解し、 人が生きていく環境整備をすることができる。
	習得する (わかる)	健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解している。	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法などを理解している。	健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会制度、活動が深く関わっていることを理解している。